

アスパラのお礼で表敬訪問  
感謝を込めて

6月20日、広島県で原爆症患者らの養護施設を運営する公益財団法人広島原爆被爆者援護事業団の鎌田七男理事長が市役所を表敬訪問しました。

市では37年前から原爆症患者を見舞うため、広島県の養護施設などにグリーンアスパラを毎年贈っています。今回、そのお礼に感謝状と平和学習書「広島のおばあちゃん」、被爆者の川手キヨコさんが制作した置き物などが贈られました。

学習書は小・中学校、図書館に置いてあります。

これからも絆を大切にしていきたいですね。



6月26日と7月3日に、輪厚児童体育館などで「ウォーキング教室」が開かれました。

7月3日には10人の参加者が

6kmのコースを歩きました。途中で草花や広々としたジャガイモ畑を眺め、夏の景色を堪能。カフェなどで休憩を取りながら、無理のないペースで歩きます。暑い中でも、元気いっぱいです。

参加した柏原シズエさんは「普段もよく歩いていますが、皆さんとおしゃべりしながら歩くのは、いっそう楽しいですね」と話してくれました。



オープンガーデン見学会  
個性あふれる庭巡り



7月3日～6日、花で美しく飾られた庭をバスで巡る「オープンガーデン見学会」が行われました。

初日の午後、広葉町の中澤さんと原田さんの庭に着いた参加者は「わぁ～すてき!」「癒やされるわね」と感激の様子。

「亡き父が育てた真っ赤なバラがちょうど見頃なんですよ」と中澤さん。原田さんの庭には梅の実がなり、辺りには色とり取りの花が咲き誇っていました。

皆さん、手入れの行き届いた庭と季節の花を満喫し、幸せな時間を過ごしたようです。

第9回虹ヶ丘レインボーヒルフェスティバル  
ゲームで大はしゃぎ

7月19日、虹ヶ丘公園で地域の実行委員会が主催する祭りに多くの人が集まりました。ゲームや抽選会などが行われ、今年初めて設けられた乗馬コーナーも人気を集めました。スリッパ飛ばしゲームでは、遠くまで飛ばそうと大人も子どもも、思い切り足を蹴り上げます。優勝して賞品を手にした子どもが両手を上げて大喜びする姿も。



お母さんと来場した6歳の梅津翔太郎ちゃんは「かき氷がおいしかった。馬にも乗って楽しかった」とっこりしました。

\*本紙は資源保護のため100%再生紙を使用しています。

北広島 2014 (平成26年) . 8. 1  
通巻973号

編集 NPO法人ひろがり・北広島市情報推進課  
発行 北広島市  
〒061-1192 北海道北広島市中央4丁目2番地1  
☎011 (372) 3311 (代) / FAX 011 (372) 0840  
✉koho@city.kitahiroshima.hokkaido.jp

今月の表紙

6月末の日曜。北広島入植130年を記念したロードレースが開かれました。3km、5km、15km、30kmのそれぞれのコースに約1600人が出場。選手たちはエルフィンロードを駆け抜け、家族などが見守る中、次々とゴールしました。3km親子ペアに出場した小学5年の男の子は「思っていたより、早い時間にゴールできました」とうれしそうです。